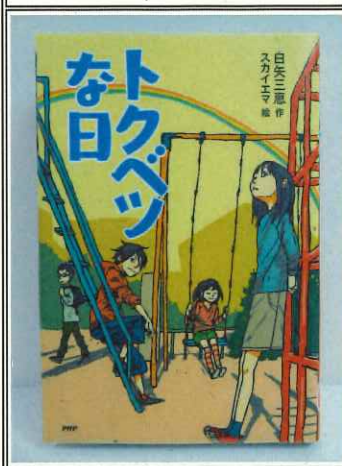


市民図書館所蔵のおすすめの本「2019年10月」

10月のおすすめの本

読書は、広い世界を知り、心の世界を豊かに育み、大きな楽しみを与えてくれます。
 日々成長する子どもたちにとっては健やかな人間形成の上で、読書は手助けをしてくれます。
 大分市民図書館司書が選んだ今月のおすすめの本です。

児童書

	『本屋のラク』 くどう かずし／文 やまぐち ぴこ／絵 〔出版ワークス〕	ソウタと猫のラクはいつも一緒です。でもお別れの時が近づいていると知ったラクはだまって家を出ていきます。それはソウタを悲しませたくなかったから…。 流れる時の中で、ラクは何度も生まれ変わりソウタの前に現れますが、ソウタはそれがラクだとは気付きません。 出会った“命”との絆の大切さを優しい絵が語りかけてくれます。
	『トクベツな日』 白矢 三恵／作 スカイ エマ／絵 〔PHP研究所〕	誰にも言えない悩みのために心を閉ざしている二葉。二葉のクラスメイトの真央、達也、勝もそれぞれが人には言えない悩みを抱えています。壁にぶつかったり、反発したり、悩みを抱えながら迎えた授業参観「もみじ給食の日」。一人暮らしのお年寄りを招いての給食の時間。この日は4人が希望を見出す「トクベツな日」となります。

一般書



『江戸のデザイン図鑑』

柏木 博/監修
〔河出書房新社〕

“江戸”と“デザイン”という少し時代が錯誤しているように感じますが、絵画や工芸品、染物等、江戸時代はさまざまな文化が庶民のものになってきたとも言われています。それは、ときには江戸の“粋”と表現されるようになってきました。この本はオールカラーで江戸時代のにぎわいと人々の力強さを感じることができる一冊です。



『ばあちゃんぼくが継ぐ』

近藤 誠宏/監修
加藤 麻美/撮影
〔岐阜新聞社〕

「山中和紙」を知っていますか？岐阜県飛騨市河合町で鎌倉時代から今も変わらぬ技法で作られている和紙です。和紙の材料となるコウソを採取し、雪にさらして漂白し、丈夫な和紙が出来上がるまで全ての工程が手作業。紙すきの伝統を継承する様が、写真から生き生きと伝わってきます。

お問い合わせ

教育委員会事務局教育部社会教育課大分市民図書館
電話番号：(097)576-8241
ファクス：(097)544-5615

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

電話番号 097-534-6111(代表) 097-534-6119(時間外) 法人番号4000020442011

開庁時間：月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分（祝日・休日および12月29日から1月3日を除く）

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.